

CLUSTERPRO

MC RootDiskMonitor 2.9 for Linux

パトロールシーク機能リリースメモ

© 2024(Apr) NEC Corporation

- ライセンス
- パッケージのインストール
- セットアップ
- マニュアル
- 注意・制限事項

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.9 for Linux (以後 RootDiskMonitor と記載します)のパトロールシーク機能の動作に必要な手順について記載したものです。

(1) 商標および商標登録

- ✓ Red Hat、Red Hat Enterprise Linux は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. およびその子会社の商標または登録商標です。
- ✓ Oracle は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- ✓ Linux は、米国およびその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。
- ✓ その他記載の製品名および会社名は、すべて各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記していません。

目次

1. ライセンス	1
1.1. ライセンスツールのインストール	1
1.2. コードワードの登録	2
1.2.1. ソフトウェアパッケージのインストール前にコードワードを登録する方法	2
1.2.2. ソフトウェアパッケージのインストール後にコードワードを登録する方法	3
2. パッケージのインストール	4
2.1. 動作環境	4
2.2. 使用パーティションおよび必要容量	4
2.3. 依存パッケージ	5
2.4. ソフトウェアパッケージのインストール	6
2.5. ソフトウェアパッケージのアンインストール	7
3. セットアップ	8
4. マニュアル	8
5. 注意・制限事項	8

1. ライセンス

本製品を使用するためには、以下の作業を実施する必要があります。

- (1) ライセンスツールのインストール
- (2) コードワードの登録

ライセンスツールのインストールは、本製品をインストールする前に実施する必要がありますが、コードワードの登録は、本製品をインストールした後に実施することも可能です。

なお、登録するコードワードは本製品に添付しています。

詳細は、「1.2. コードワードの登録」を参照してください。

1.1. ライセンスツールのインストール

本製品をインストールする前にライセンスツールをインストールする必要があります。

本製品をインストールするマシンで以下の作業を実施してください。

[手順の概要]

1. ライセンスツールのインストール

「コードワードについて」の「ライセンスツールのインストール」の手順にしたがってライセンスツールをインストールします。

既にインストール済みの場合は本手順は不要です。

ライセンスツールは製品媒体の /Linux/licensetool ディレクトリ配下にあります。

2. コードワード登録ファイルの作成

コードワード登録ファイルを作成します。

既にファイルを作成済みの場合は本手順は不要です。

```
# touch /etc/n2l2_lockinfo
```

作成後、コードワード登録ファイルの設定を行います。

既に設定済みの場合は、本手順は不要です。

```
# chown root /etc/n2l2_lockinfo
```

```
# chgrp sys /etc/n2l2_lockinfo
```

```
# chmod 644 /etc/n2l2_lockinfo
```

1.2. コードワードの登録

本製品を使用するためには、ロック解除のためのコードワードを本製品を使用するマシンに登録する必要があります。

コードワードは、本製品に添付されている「コードワード通知書」もしくは「コードワードファイル (codeword.txt)」に記載されています。

コードワードの登録には、以下の 2 つの方法があります。

(1) ソフトウェアパッケージのインストール前にコードワードを登録する方法

(2) ソフトウェアパッケージのインストール後にコードワードを登録する方法

※ コードワード登録期限はソフトウェアパッケージのインストールから 30 日です。

ソフトウェアパッケージのインストールから 30 日以内にコードワードを登録し、コードワードの反映を行ってください。

コードワードの登録手順について以下に記載します。

1.2.1. ソフトウェアパッケージのインストール前にコードワードを登録する方法

製品添付の「コードワードについて」の手順にしたがって本製品をインストールするマシンに、コードワードを登録してください。

[手順の概要]

1. コードワードの登録

コードワード登録ファイルにコードワードを登録します。

記述ミスなどがないように正確に記述してください。

2. コードワードの確認

コードワード登録ファイルに記載したコードワードが正しく登録されていることを確認します。

(例) # /opt/HA/license/bin/halkchecklicense -v UL4441-D02

license OK

「license OK」と表示されることを確認してください。

「license NG」が表示される場合は「コードワードについて」の「コードワードの確認」の手順にしたがってエラー内容の確認と対処を行ってください。

1.2.2. ソフトウェアパッケージのインストール後にコードワードを登録する方法

製品添付の「コードワードについて」の手順にしたがって本製品をインストールしたマシンに、コードワードを登録してください。

コードワード登録後、本製品にコードワードを反映させます。

[手順の概要]

1. コードワードの登録

コードワード登録ファイルにコードワードを登録します。

記述ミスなどがないように正確に記述してください。

2. コードワードの確認

コードワード登録ファイルに記載したコードワードが正しく登録されていることを確認します。

(例) # /opt/HA/license/bin/halkchecklicense -v UL4441-D02

license OK

「license OK」と表示されることを確認してください。

「license NG」が表示される場合は「コードワードについて」の「コードワードの確認」の手順にしたがってエラー内容の確認と対処を行ってください。

2. パッケージのインストール

2.1. 動作環境

パトロールシークは以下の OS での動作を保証しています。

事前に OS のバージョンをお確かめのうえ、インストール作業を行ってください。

- Red Hat Enterprise Linux 6.0～6.10
- Red Hat Enterprise Linux 7.0～7.9
- Red Hat Enterprise Linux 8.0～8.9
- Red Hat Enterprise Linux 9.0～9.3
- Oracle Linux 6.2～6.10
- Oracle Linux 7.0～7.9
- Oracle Linux 8.0～8.9
- Oracle Linux 9.0～9.3
- Amazon Linux 2
- Amazon Linux 2023

HW 構成の条件は以下のとおりです。

- x86_64 搭載サーバー
SCSI インタフェース接続の内蔵、増設ディスク装置
NVMe インタフェース接続の SSD 内蔵ディスク装置 ※1
※1 下記の構成を満たしている必要があります。
 - NVMe SSD ブートディスク搭載 Express5800 シリーズであること。
 - Universal RAID Utility にて HW-RAID を構成していること。

2.2. 使用パーティションおよび必要容量

パトロールシークで使用するパーティションと必要なディスク容量は以下のとおりです。

ご使用前にお確かめください。

使用パーティション	必要容量
/opt	約 1M バイト

ログファイルの領域が/opt 下に別途必要となります

2.3. 依存パッケージ

- sg3_utils

パトロールシークは内部で以下のパッケージを利用します。

sg3_utils Utils for Linux's SCSI generic driver devices + raw devices

本パッケージがインストールされていない場合、事前にインストールしてください。

以下のコマンドでインストールの有無を確認できます。

```
# rpm -qa sg3_utils  
sg3_utils-w.x-y.z
```

※ インストールされていない場合、何も出力されません

注意:w, x, y, z には sg3_utils パッケージのバージョン番号が入ります。

本パッケージは標準で OS インストール媒体中に含まれます。

2.4. ソフトウェアパッケージのインストール

1. 本製品の含まれる CD-R 媒体を CD-ROM(DVD) 装置に挿入してください。
2. mount コマンドにより、CD-R 媒体をマウントします。
(/dev/cdrom は CD-ROM(DVD) 装置のデバイスファイル名)

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

3. rpm コマンドにより、パトロールシークのパッケージをインストールします。

```
# rpm -ivh /mnt/cdrom/Linux/option/pseek/rpm/clusterpro-mc-mdmpseek-w.x.y-z.rpm
```

4. rpm コマンドにより、パトロールシークが正しくインストールされたことを確認します。

```
# rpm -qa | grep clusterpro-mc-mdmpseek  
clusterpro-mc-mdmpseek-w.x.y-z
```

5. マウントした媒体を umount コマンドによりアンマウントします。

```
# umount /mnt/cdrom
```

6. 媒体を CD-ROM(DVD) 装置から取り出します。

以上で パトロールシークのインストールは終了です。

2.5. ソフトウェアパッケージのアンインストール

1. パトロールシークの監視を停止させます。
監視の停止方法については『CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.9 for Linux パトロールシーク機能 ユーザーズガイド』を参照してください。

2. rpm コマンドを使用してアンインストールを行います。

```
# rpm -e clusterpro-mc-mdmpseek-w.x.y-z
```

3. アンインストール時に以下のエラーが出力された場合、cron から mdmpseek エントリを手動で削除します。

```
WARNING: Internal error(crontab updating failure).
```

① cron 設定の確認

```
# crontab -l  
48 14 * * * /opt/HA/MDMPSEEK/bin/mdmpseek
```

② cron 設定の削除

```
# crontab -e  
48 14 * * * /opt/HA/MDMPSEEK/bin/mdmpseek ← この行を削除します
```

3. セットアップ

パトロールシークを使用するためには、設定ファイル・セットアップ作業を行う必要があります。これらの手順については、媒体添付の『CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.9 for Linux パトロールシーク機能 ユーザーズガイド』をご覧ください。

4. マニュアル

パトロールシークのマニュアルは PDF 形式で CD-R 媒体に含まれています。

マニュアル名	ファイル名
CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.9 for Linux パトロールシーク機能 リリースメモ	/Linux/option/pseek/manual/ Linux_MDMPSEEK_relmemo.pdf
CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.9 for Linux パトロールシーク機能 ユーザーズガイド	/Linux/option/pseek/manual/ Linux_MDMPSEEK_users.pdf

CD-R 媒体は Microsoft Windows からアクセスできます。

PDF ファイルを参照できるソフトウェアを使ってマニュアルをご覧ください。

5. 注意・制限事項

本リリースでの補足事項・注意事項については、『CLUSTERPRO MC RootDiskMonitor 2.9 for Linux パトロールシーク機能 ユーザーズガイド』をご覧ください。

CLUSTERPRO
MC RootDiskMonitor 2.9 for Linux
パトロールシーク機能リリースメモ

2024 年 4 月 第 12 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番地 1 号
TEL (03) 3454-1111(代表)

© NEC Corporation 2024

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙